

JR東日本労働組合 SENDAI 情報

JR 東日本労働組合
仙台地方本部
発責：執行委員長
編集：情宣部・組織部

2021 夏季手当 第2回交渉

会社の発展と同時に生活の安心・安定も必要だ！

<組合>

JR労働者には消費者、生活者としての「自己実現」がある。社員は生活のために、賃金・手当を得るために働いている。
社員は人生の大半をこの会社にあずけている。その社員・家族を守るのは会社の責務だ。

会社の持続的成長のための投資」と「社員への投資」は両輪である！

<組合>

- 施策を担う社員への投資が行わなければ、社員と会社の持続的な成長はない。
- 職場環境整備投資は、実際に利用する社員の声に耳をかたむけるべきである。
- 業務委託駅の無人化や車両清掃の契約解除など、社員の労働が強化されている実態がある。

夏季手当は社員の生活費だ！黒字化のために削減することは認められない！

- 昨年度のコスト削減の1/3は人件費の削減によるものであり、その大半が「賞与の削減」
- 今年度の通期予想は黒字予想だが、定期昇給「2」係数で人件費を23億円も削減している。
すでに社員の生活が犠牲。 期末手当を削減した黒字化は認められない。
- 社員は生活の安定・安心を求めている。賃金・手当の削減は人材流失を招く恐れもある。

2.8ヶ月をはじめとする全要求項目の満額回答を求める！

- 健全な危機感にも配慮しつつ慎重に判断し2.8ヶ月を要求している。
- 今年度は定期昇給「2」係数となり、昨年の2.8ヶ月と今年の2.8ヶ月では違う。
- 過去最高の会社業績をあげ、右肩上がりの業績の中でも夏季手当は2.91ヶ月の横ばい。
当時、**経営側は「経営が苦しくなったときも安定支給ができるように」と回答**